

再校

江戸砂子

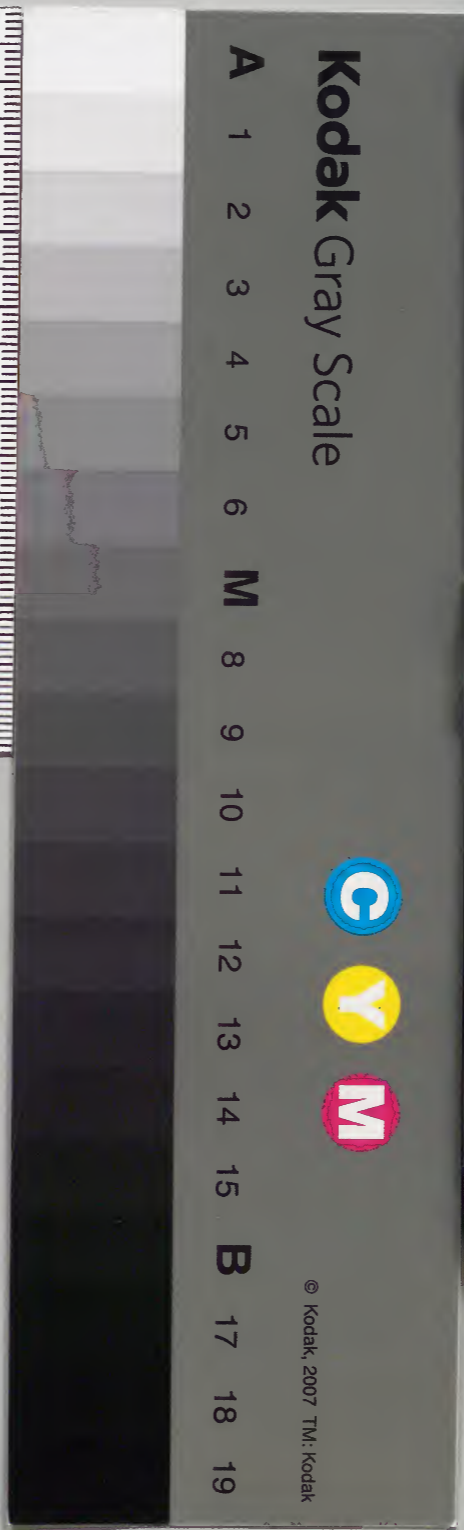
湯島上野
谷中駒込
小石川板橋

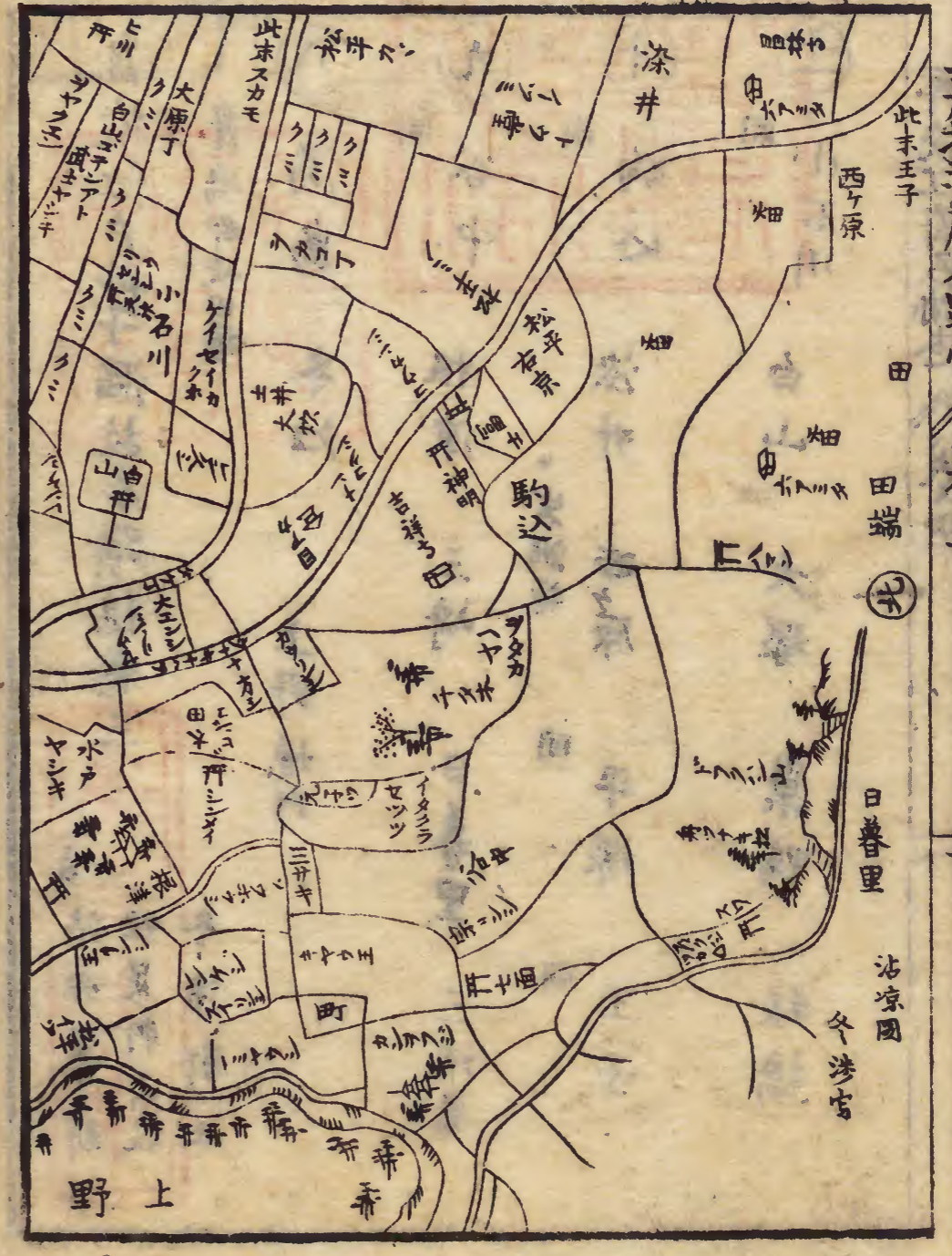
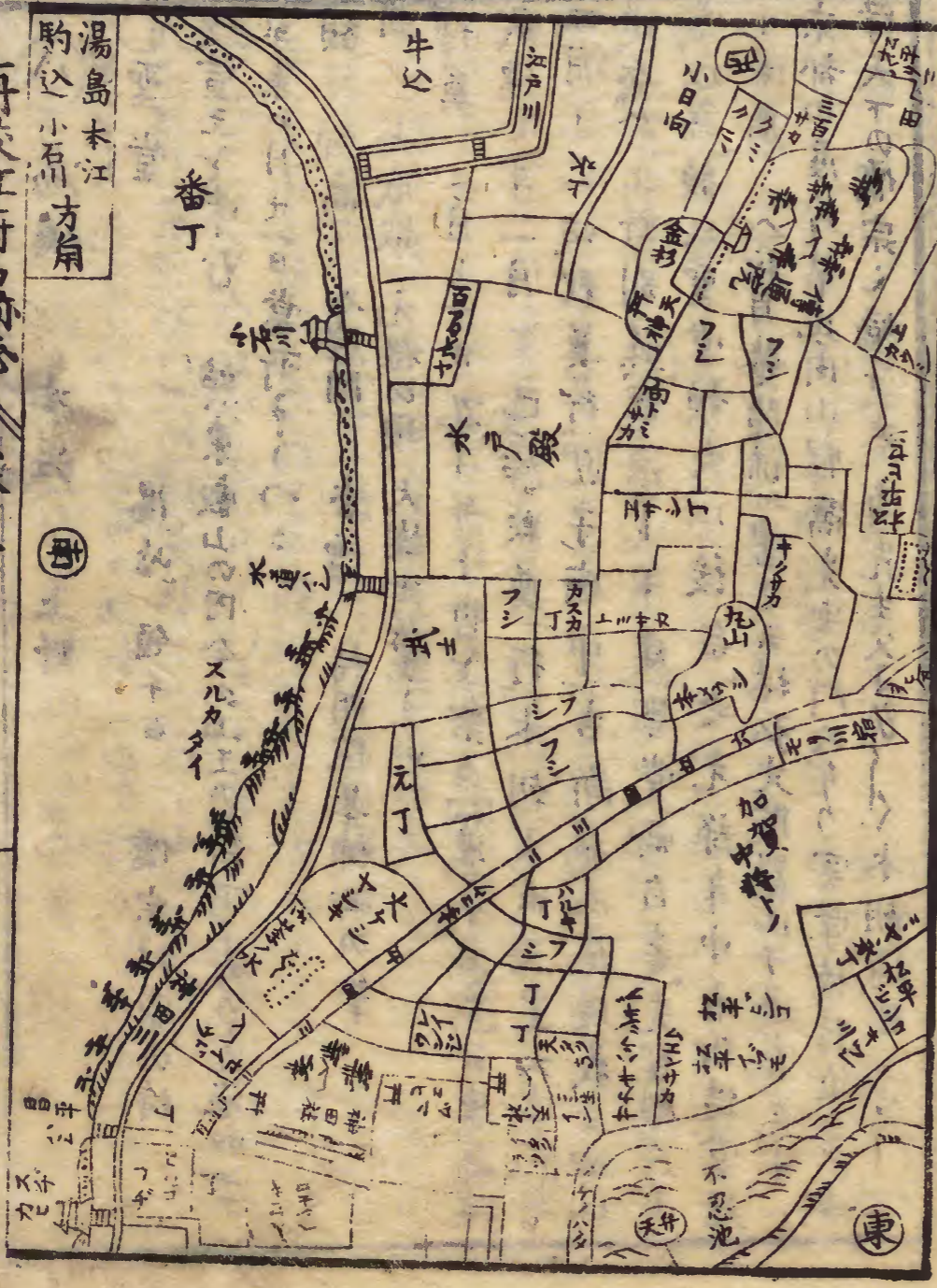
三

和書門				
類	一六五二三	函	一四一三	架
冊	八四	架	函	架

内閣文庫			
和書	一六五二三	架	函
冊	八	架	函
冊	一七四函	架	函

内閣文庫			
番號	和	16513	
冊數	8 (3)		
函號	174	29	





八 湯嶋

本江 上野

○聖堂

湯嶋 領千石

儒宗林家の持

文宣王と崇む

始八東叡山の内今の山王の社の所あり元祿四年

辛未八月廿一日當所より

額

仰高

入徳門

杏壇

持明院基輔卿の筆

同

大成殿

元祿の頃大樹御筆より

釋奠

二月上丁日

孔子并十哲を祭る

和漢三才圖會云唐高祖

武徳七年二月丁巳始 釈奠一行 本朝文武天皇大宝元年

二月丁巳始 釈奠行 孔子廟中古断絶而尾陽義直卿林

道春於上野別荘寛永十年建 聖堂卿自書 先聖殿三大

字以為額此聖堂類火以後 毎之元祿年中右御造菅近

于湯嶋 △松月菴隨流の書よ云林私文院羅山子道春先生ハ

京都の産行して北由山惺窩先生の門人なり実学徳行近來の博

学天下の儒宗の嫡子春斎先生父子ひくく本朝通鑑と著

○神田社

湯嶋

社領三十石

南京橋

産土神

祭神

大己貴命

平將門靈

二座

神田湯嶋下谷小川町

社家傳説云人皇四十五代聖武天皇天平二庚午鎮座

往古ハ神田より一ヶ園ニテ三ヶ所の御田ありて大神宮ハ

初穂の神供と收むるニテ其地ニテ芝蔭村あり大己貴命ハ

地主の神なり其所ニテ神と祀るニテ其地ニテ神田

村と云あり之れ也其地ニテ△將門の靈と云あり人皇六十

一代朱雀天皇天慶三庚子二月十四日平貞盛の矢子中ノ藤原秀郷ニ

對其以將の才御厨三郎平將頼武藏守多麻郡中野の原ニ

出張し秀郷の子藤原千晴とたりひねれ利ありて天慶三年

七月七日因玉河越よおて千晴の死中野の古戰場ニその

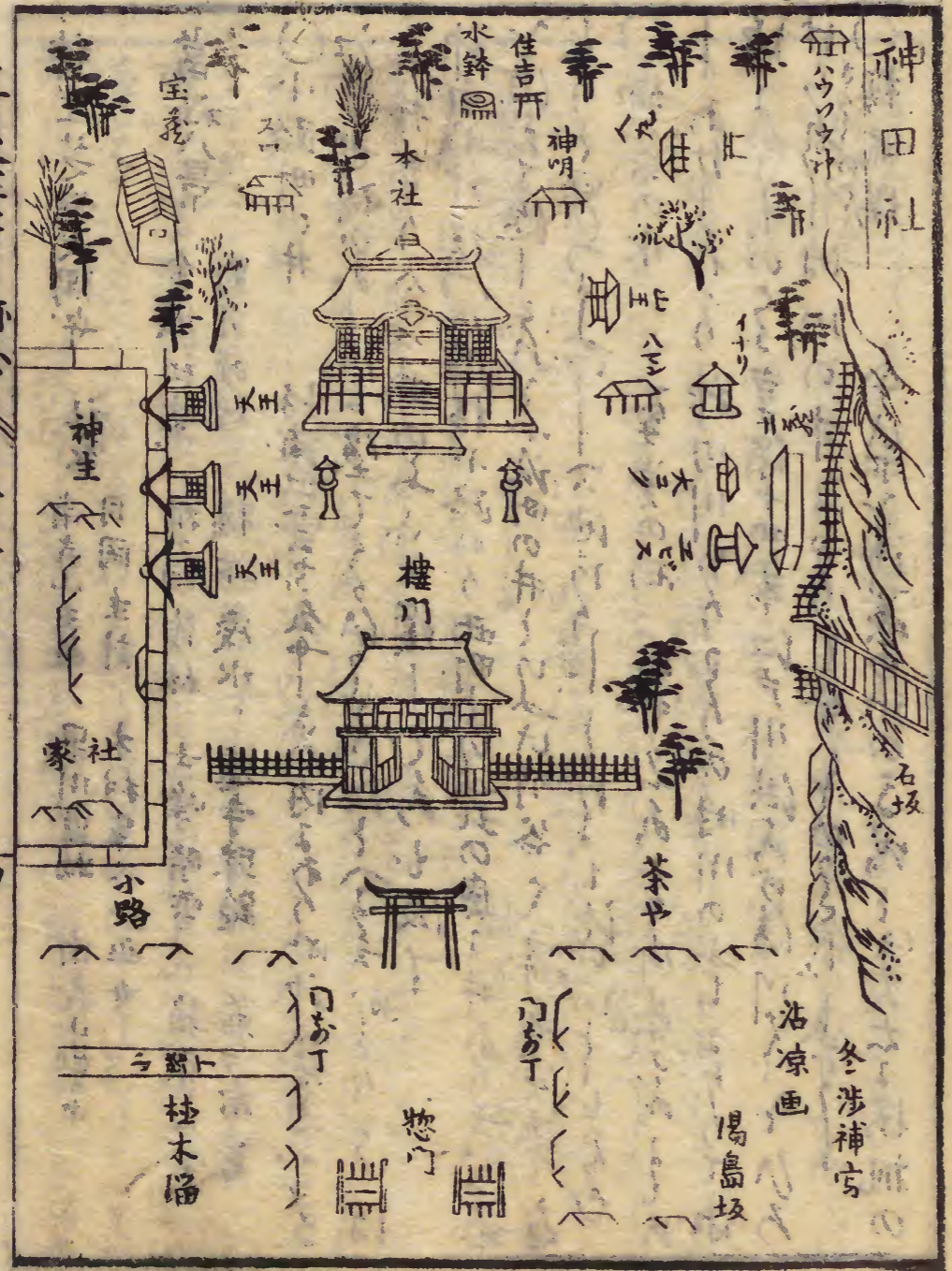
體元と云あり人民と云ありひさし年あり延文の以一遍上人三

代去教坊當下村の村村民此を歎くその堂の長しなり其の

の霊をお敬まつりて神田大明神二座と云あり草庵と云

て芝蔭の乃場と云あり後草神田山月輪寺なり

芝崎村ハ今の神田橋の邊なり社の旧地今柳系家のやまの所
 今よまゝ祭礼の初ハはつりまゝなり神輿をまき奉幣なり
 神職の芝崎氏ハ在名なり元和二年丙辰當所より
 祭礼九月十五日隔年江府の大祭也 △神事能おれ年々
 何ん町年安世活して江戸町中核友割ありは能くまをのり
 松ちまわく勤後室せちまをく勤享保斗中より才絶
 △牛頭天王 三社より 當社の地主
 毎年六月神事 大侍町御旅 廿日出雲 八日還雲
 南侍町御旅 七日出雲 十四還雲 小艇町御旅 十日出雲 十二還雲
 △住吉大明神 石の手水鉢ナリは橋州住吉の井の破れ
 といふ去を友より奇怪なりより當所ハ納仁吉にまつ
 △人凡大明神 古來中入りの享保の頃神像と納
 杉白木 長五寸五分 頓阿法師の作橋州住吉奉納三百疋の其一
 宗祇法師恭敬の神像宗牧より伊賀小上野飯茶寺三附屬同苗
 三悦より是沾涼父より此是像茅屋よりありと悲て奉納す



天満天神 △天徳四年九月廿三日庚申の夜内裏回祿と
融院の御宇に及て改管工匠芥とつりしりおまうる一板の
間小虫天井のうら板と名りて文字とりし

茲よりして神怒候ある事とあはれて小井文と名りしもの
崇すまやまといまひ △一條院正暦四年五月寧府安永寺
よ 勅使と遣しめて太政大臣正一位と賜りし神託

昔、爲北闕被悲士 今作西都雪耻死
生恨死歡其我奈 從今望足護皇基

諸社一覽 太田左衛門資江戸の城より一町文明十年六月城中
よおめて若菜おの祠と立同年の秋さる落一室よ高座と
多々中よ若菜おの梅アとての聖別あるく卒後して
菅原おの若菜の画像と然と置るの謂りして遂に
城おのの畔よおめて若菜おの祠坐と建て敷十頃の貞田
宮せ梅花敷百株と裁 △寛政行 志のの宮れ並下油

いのおあり古松とるうらめりて志めのうらむさし申のまをうとけ
うらうら宮松の乃すうらめりて志めのうらむさし申のまをうとけ
あまれすいふ風吹むえおきてまをうらめりて志めのうらむさし申のまをうとけ
十一年はうらめりて志めのうらむさし申のまをうとけ

△志社の地は戸隠大の神りりしと云末社に戸隠の社あり
凡土記 湯嶋神社 神貢百東三毛四字田

雄略天皇御宇二年癸丑八月自官祭所手力雄神也
あとい若社の地と云りしと云末社に戸隠の社あり

祭日 二月十日 十月十日 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年
乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年 乙酉年

△砥餅 二月十日砥餅とて餅と四角は砥のこくたは神供と
後氏子家道に配る或戸降く當社地は戸隠の神供と云
△笹塚稲荷社 境内より元はふむしの町家なれり

海防工部局

きおあーいづくもたぐ年ワに女ありて火たき水級
 換とあは照とあて十人こそをへきおは女一人
 つらした料理出来う付いつらへはあはれはれれれ
 合さるて後又ありつらしたるさだめあはれれれ
 とのうねくねたれれれ作人そそさうしやうや
 さだめいんも二言のあはれはれれれいよあはれれれ
 うくさるるの年わりのあはれれれれれれれれれれ
 ○御茶園の跡 湯島野目の山杉浦屋やきのもこ
 ○大根畑 山まの内 近年町家さへ
 ○稲荷社 山まのあり 補は比世茶園のあはれれれれれれれれれれ
 ○地獄谷 山まのあり ○筆谷 山まのあり
 ○丸山 山まのあり
 ○本妙寺坂 丸山本妙寺のむすの坂といふ
 ○梨坂 丸山の内
 ○菊坂 丸山より山石川へ出る坂

補

補

補

補

○炭園坂 山まのあり町とき
 ○石地藏 加州大守の庭より四尺余の立像より面
 神異相あるとの忠節も後背に楷書して大同元年とあり
 とのりけ古奥州街道よりと度長のおろは地と夜堂あり
 下さるるのころ加州大守八昌平橋の外よりきりり
 ○森川宿 山まのあり町とき
 ○本江追分 坂橋街乃岩附道の追分と
 ○一里塚 追分の角と乃と龜とて加州家辻番所の西に
 わり塚と柱より坂橋より一里りり

諸宗佛閣 湯島本江の内

○天澤山麟祥院 妙心寺末 清家四箇寺 寺以三百石湯島
 崩山湄山劉和尚 謚号本号定禪師
 本邦 御乳母 稻葉氏春日局 釣命よりて寛永ニし

祈願所となり又日光御門主より定院室覺樹王院乃号
永代々々賜りぬ平日日受樹王院と唱ふ

○鳳閣寺 修験 當山 三寶院派江戸觸院 日下

百螺山と号する和州吉野の鳳閣寺なり其の山号し又此寺
遠州二諦坊と號すと二諦坊は古き由緒に後遠之の
と心五九月札と配るし其の後府より後慶くハ
風ありまの裡けりしをそまも思は寺の板より下谷の部
ありそのありし中板の下けりし追年聖考との
まのりしとのありしなり

○東叡山寛永寺圓頓院 天台 上野

開基慈眼大師 天海大僧正の謚

人皇百九代後水尾天皇寛永十中草創比叡山延曆寺より
つれ江城の鬼門と守り靈場として天下泰平の御祈願所なり
日光御門主一品法親王

△中堂 南向 高十八間 長二十五間 横十八間

額 瑠璃殿 元祿の太上天皇宸筆

△回廊 額 寛永寺 後水尾天皇宸筆

△文殊樓 額 吉祥閣 大明院公辦法親王御筆

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△法華堂 常行堂 渡敷あり世俗乞と擔ひ堂より尾紀

△日光御宮 五重の塔 別當 寒松院

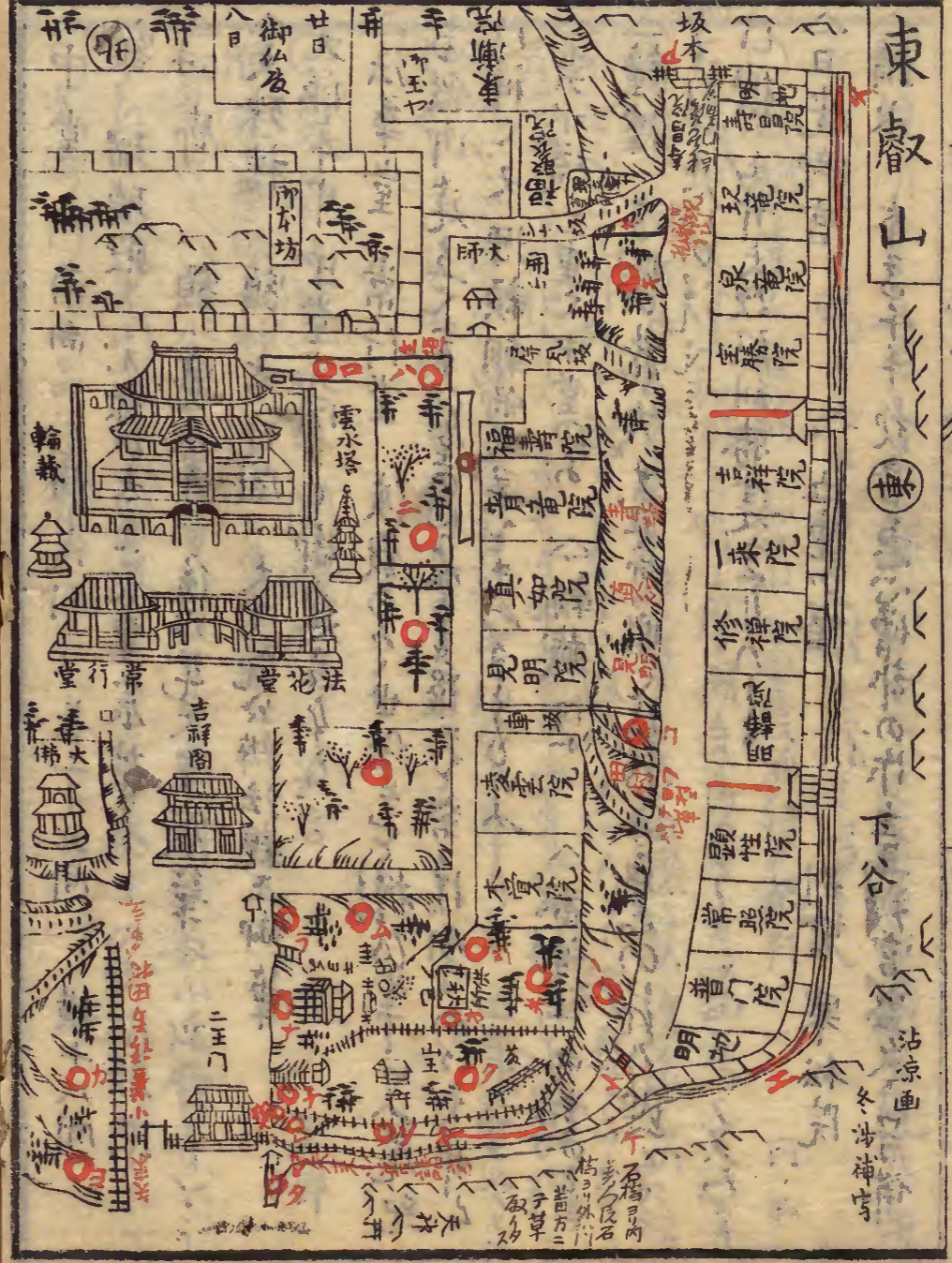
△清水 本多千手観音志心僧都の作主馬判官盛久守佛

寿昌明地溝
 普門明地溝
 年行事儀

又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀
 又本寺儀

— 道造、印
 ≡≡≡ 竹矢末棧
 ○ 松原持分
 ~ 溝、棧

東叡山



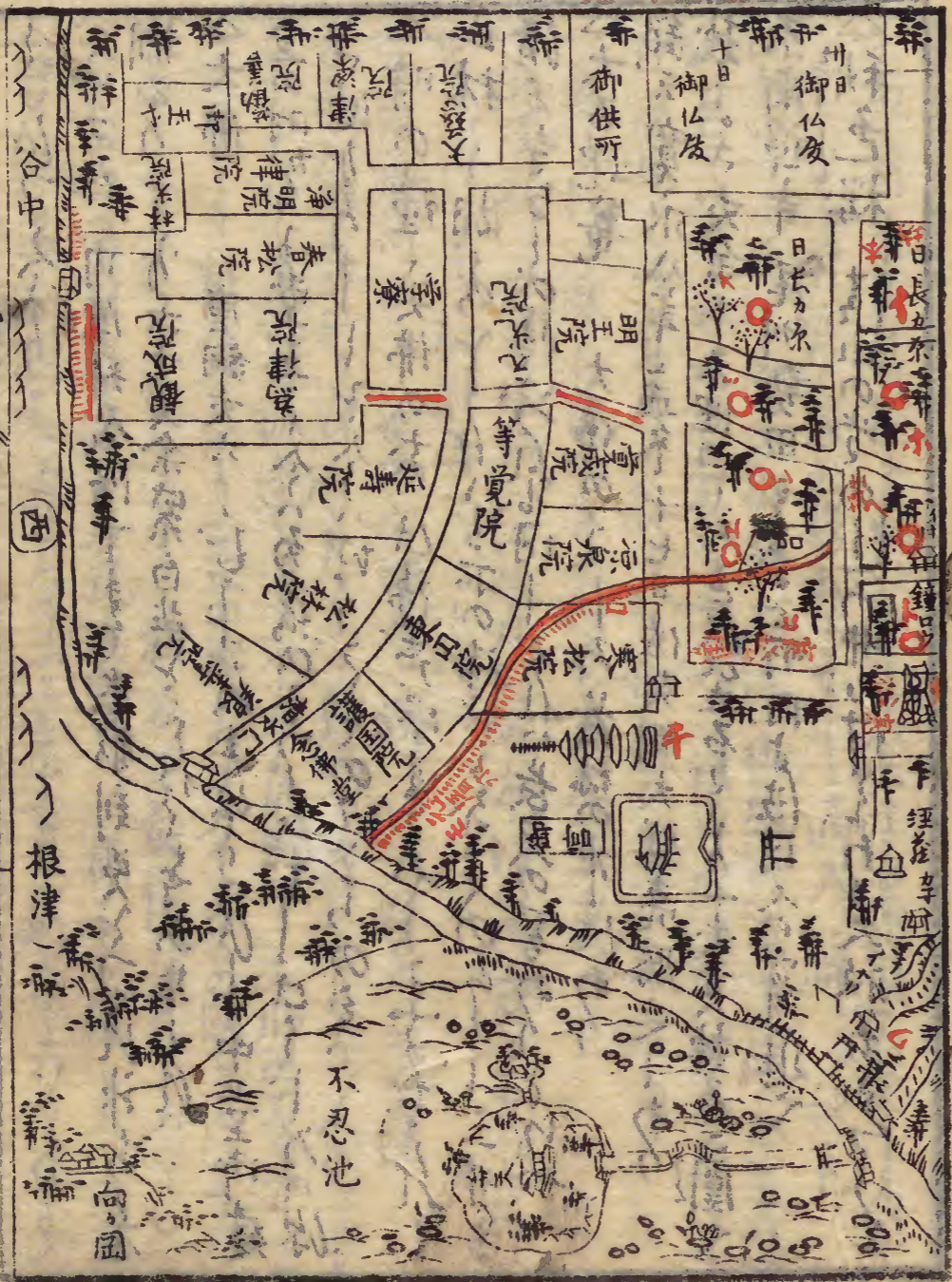
丹波川原

東

下谷

沾京画

冬涉補字



再交工府名跡志

卷三

根津

向園

とひつらんらん

△山王社 内陳拜殿階下まで悉彫刻及つくは沖あま者
棚ありまゝり六十丈余は系白英とくしるあめりしん

△大佛 唐銅丈六 じーいぬまゆいひー中堂清建
立の時かりも堂立る今ハ為落のこつひあけうー力ハ你
き地かりーと今ハ地りてのこつらのも

△時の鐘 大佛のおけ清声響もるやうまやもさんて
山林ハ湖あまうけいふ所の清いふふくのあー三井さ
清又寺ちよの清いつれは日ーらんハ長文の勢ありとり

△大石燈籠 大佛のうーろ茂林の中はあり

銘云寛永八年 孟冬十七日佐久間大膳亮勝之ーあり
熱ささ丈余トる埋りてまもは益石より一丈二尺掉る三圍ハ

系南禅寺 尾州藝田マもト三所トハ法門人の寄進也

△秋色桜 清水の堂のじろ井のけらわら大救者さくくと

小あし町菓子屋のじすあおあきとり共十三葉の耐たアまあて
井戸まこの梅あまー酒乃酔 秋色
此句いーく、宮の御聴ま直し御感りりーは小女後
秋色とりて俳諧の点者るなり誰のめくはさくくと
秋色掃と峰まきりひーハ俳歌の徳とくつり

△龜子松 寒松院のあのおしあ壺ま考

△緋の衣 又宮様紅 紅牡丹ハ御本坊の所庭よりとり

世ハ稀也。紅牡丹ハ

△忍岡稲荷社 世俗定稲荷

△慈眼大師あ山とひはたよまは山あまか人ありも
まきハてあ木の狐途とーハみ教了大師のああま
はくまの粉及まおまの地とあまみかの洞とはくり
そのーヤースとー稲荷と勸許

又太田乃灌の建立りの院あり 神木ハ榎ハ人あり

△臂懸榎 古喪云 上野志のうまのありと稲荷あり林あり

再交江府各志

凌雲院 涼泉院 東圓院 常照院
 見明院 覺成院 等覺院 頭性院
 真如院 明王院 報壽院 明靜院
 清龍院 元光院 松林院 修禪院
 福壽院 延壽院 一乘院
 東漸院 大慈院 吉祥院
 △律院 淨明院 津梁院 宝勝院
 △学寮 俗子百問表をくえ 勸善院 泉竜院
 当山の檀所く 春松院 現竜院
 △二王門 表惣門 為律院 壽昌院
 額東嶺山 勸成院
 大明院宮公辨法親王御業
 前板より黒門のわり享保のけめ火災かたりて後志はけり
 城戸のくまき門とまきまきありしは思ひしひけり

補

明和九壬辰年二月廿九日黒行人坂より出火西南の
 風よりくまき門とまきまきありしは思ひしひけり
 焼入り下寺町の院に焼入り焼谷中の宝火より谷中
 のよりまき焼入り
 △車門 志のほの地乃るへくまき口
 △稻荷坂 穴のかりの門の所ありしは思ひしひけり
 当社を験いしありし信仰のより多くありしとの
 神ありしは又矢敷十本と奉納と
 △清水門 護玉丸のふら中よりありし
 △新清氷門 常の通法ありし
 △谷中門 谷中への出口

補

補

再交江府各志

下二

此多しけ敷七ヶ所ありし

○天台宗佛閣

谷中

○長擢山感應寺

寺領三十石

上野末

閑山日蓮上人二世日源上人

中興開基十世日長上人 孝母四寂

中一き日蓮宗の所場あり

元禄年中天各宗に改り

本堂 毘沙門天

毎月十八日當執務あり

△淺黄梅

凡そ屋のおりわり

塔院

瑞音院

吾の院

正福院

了定院

日曉院

△五重塔 日長上人建立

此塔の如九十九年二月に乃り

○清林山大泉寺

弘隆山惣持院

赤光末

○霍林山泰然寺

○信増山金蔵寺

上野末

○光雲山法苑院

△金山の社

補

○日登山妙林寺

碑文谷末

三坊

△百枝梅

又桃枝さくらとも 当寺よりあり

此句自本寺の由ありしなり 寓言せし風

○真言宗佛閣

谷中

○瑠璃光山長久院

弥勒寺末

○蓮葉山観音寺

同

○長谷山賀納院

同

○医王山東漸寺

同

○佛到山西光寺

同

○本芝山宝光寺

同

○補陀山報福寺

木食義高字基

○宝塔山多宝寺

根生末

△諏訪大明神社

△百観音

○禅宗佛閣

谷中

○望湖山玉林寺

寺从三十一石八斗 吉洋寺末

○大道山長安寺 山中海蔵寺末

○海雲山天竺院 同

○高福山永久寺 玉林

○福聚山海藏寺 海蔵

○淨居山青雲寺 妙心末

○閩山勅諭常寂智光禪院 閩基下總国佐倉侍從前相州大守紀

正亮法名青雲院松山真心大居士

△寂音堂 △秋葉社 △岩屋弁才天 △布袋堂

△高士後同社 △護国稲荷 此兩社太田乃濱江城繩津の島

鬼門よりして勧請といひし

○淨土宗佛閣

補

○普賢山法住寺 幡隨院末 三崎

閩山了碩和尚 宝曆四甲戌年開基

了碩和尚幡隨院位職のうら閩基より十念と文し寺持多し

此地より講堂のやうなり

毎年滿院經万巻終行あり

○法化宗佛閣 谷中

○慈雲山瑞林寺 身延末寺頭

閩山日慈上人 本尊大釈迦 立像一丈六尺

寺中 本立院 本妙院 旃仙院 玄妙院 是立坊 本立坊

之成坊 玉泉坊 大乗坊 常進坊 陽泉坊 北平坊

○日長山領玄寺 身延末 推の木寺と云大木の推四本あり

閩山日長上人 身延三十三世日亨上人の墓あり身延の隠居寺し △末廣稻荷社

補

會式攝

○日照山長明寺 京本國寺末
 同山日長上人 寺中 蓮行院 常誦坊 長栄坊 了玄坊
 ○感應山常在寺 永延、
 ○延壽山長久寺 同 寂靜山蓮花寺 本寺末
 ○大乗山延壽院 日東大乗山 同 榮源山奉壽寺 同
 ○運立山要傳寺 日 妙見山本立寺 日
 ○大乗山長運寺 日 永上坊
 大城の虎石の中ありて高寺に有り長三尺と一尺二寸は有り
 ○立光山正運寺 本寺末 永上坊
 同山日運上人 △三崎稻荷 当所の法寺也
 ○龍江山妙法寺 中山末寺以 三崎
 同山日如上人 付教大師の作鬼子母神
 寺中 詮量院 榮樹坊 學詮坊 正喜坊 春陽坊

補

○妙祐山宗林寺 京本小寺末
 同山日心上人 寺中 恩心院 因立坊 了運坊 経王坊 本壽坊
 △黄沢 尚寺の境也有り
 ○圓住山妙圓寺 法恩寺末
 同山日住院日如上人 寺中 一乘院 龍成坊
 ○高光山大圓寺 日
 傳教大師の作大黒天安賣 宝前して常經
 ○究竟山妙情寺 京立本末
 ○正栄山妙行寺 新井如成寺
 ○長久山妙泉寺 京本末
 ○寂照山龍谷寺 新井如成寺
 ○石岡山妙福寺 京本末
 ○長奥山立岩寺 依地如成寺
 同山日親上人 同 松栄山福相寺 小湊延生寺
 ○長清山狼泉寺 京本末
 ○妙経山信行寺 後州末末
 ○宝栄山本通寺 京本末
 ○光照山感應寺 志保末末
 ○瑞應山妙雲寺 永延、同山日登上人 之和年中起立

再抄江府名品志

卷三

七五上

○頭壽山佛心寺 京本住持 ○長源山本光寺 総持本住持

○長昌山大雄寺 豆州玉沢妙法花經寺末寺院 寺中 久成院

○常親山安立寺 京本住持 寺中 田妙院

○田妙山大行寺 住思寺、 開山田妙院日感上人寺中 田産坊

○大黒山経王寺 丹近末 日蓮上人作大黒天 寺中 高浄坊

○大法山一乘寺 総持妙光寺、 寺中 高浄坊

○佛壽山上聖寺 玉沢、 寺中 高浄坊

○星梅山妙傳寺 お州妙傳末 寺中 高浄坊

○運慶山修性院 丹近末 天正十九年起立

△聖徳太子安置 寺中 高浄坊

△富院の庭屋景より一階寺妙隆寺も亦同一それ升は 近邊茶店おけりつれも絶景とてけり作りし花のありは けしなり河府のお景おけりつれり

十 駒込 漆井 西原 田畑 平塚 玉子

○駒込 日本武尊よりけり味方の勢とけりけりおちりぬる

○富士山 約也別當富光山瑞泉院真光寺兼帯 天台寺目

祭所駿州と同し 神名帳 駿河國富士郡浅間神社

桶木花開耶姫一名鹿芦津姫大山祇二女也

由法ひりし御の内にあり山の上と大木一もけりこのゆ

に六月大雪つとて人民そのをけりしに必きりあり

川に富士浅間と勧請し其旧地加州家法を友の國

實承年中此地よりけりてそのゆは社とたてり山のか

富士山の安し前の書院と富士書院と号らるる

毎年六月朔日参詣群集 祭日当所の産 唐園 十葉蒙蛇 五色綱 夏の菓

堀丹後守利直再興の事... 此の村... 堀丹後守利直再興の事... 此の村... 堀丹後守利直再興の事... 此の村...

○深井躑躅

名本... 深井躑躅... 名本... 深井躑躅... 名本... 深井躑躅...

○六河弥陀 三番目

佛堂山西光院善量寺... 六河弥陀 三番目... 佛堂山西光院善量寺... 六河弥陀 三番目...

△母衣さつろ

此院事のおよあり... 母衣さつろ... 此院事のおよあり... 母衣さつろ...

○末木観音

補陀山昌林寺... 末木観音... 補陀山昌林寺... 末木観音...

岡山行基菩薩六河弥陀彫刻の初末本... 岡山行基菩薩六河弥陀彫刻の初末本... 岡山行基菩薩六河弥陀彫刻の初末本...

補

昌林寺の關... 昌林寺の關... 昌林寺の關... 昌林寺の關...

○五石松

光明山圓勝寺... 五石松... 光明山圓勝寺... 五石松...

慶長の頃御腰掛松... 慶長の頃御腰掛松... 慶長の頃御腰掛松... 慶長の頃御腰掛松...

○田畑八幡宮

別當白竜山東覚寺... 田畑八幡宮... 別當白竜山東覚寺... 田畑八幡宮...

○六河弥陀四番目

宝珠山地藏院与楽寺... 六河弥陀四番目... 宝珠山地藏院与楽寺... 六河弥陀四番目...

○平塚大明神

別當平塚山安楽院城守寺... 平塚大明神... 別當平塚山安楽院城守寺... 平塚大明神...

尚社ハ幡太郎我家祖ヲ奥州貞任侯氏の時從とせしめり
一所の名跡アリトシテハ幡太郎賀茂二郎新羅三郎の三連
枝とす。所の社ニ 社从五十二 平つ村の跡也

△本地佛 十一面観音 義家於夫の時佛より

△鎧塚 義家於夫の時從とせしめり

日本武勇秩父の峰ニ 武具とせしめり先例とひり

△山田寺 けり安樂寺といひて寛永の頃山川城管より

檢校ハ尚所の産なりけり人々をまゐりてくま

君邊よりけり一々御不倒りて城管の迹跡

御全快の御願の事とせしめり早速御機嫌常より

そのうち此のまきありけり神仏御寄附あり城管

所所とす一賜ふ村ニ城管社於修造と又之を人の

乃ハエガれりて城管寺といひて

山川氏の末皇人といひて

○平塚城 豊嶋左馬の城跡と云その所は

○大追物の地 城官の地と云奉修ハ村本民社ヲ捕取の

その村寄附の石標とすその跡あり 第一本三保四丁

十一月十三日松平薩摩守先父相長大追物と上覽より

所ありその場東西四十三間南北四十間四尺五寸の

堀とゆひしに大繩小繩約堀口といひて

○御殿山 寛永の氏市茶屋のりり一

○飛鳥山 王子権現のこきり芝山と此山より眺

荒川の流白布と引足立那の度地目と

の代し榎樹数千株植せり

まきり

前板 朝香山といひ碑の建り

じり

王子社

是熊野乃礼よりひまいて祭る... 神代卷 土俗祭此神之魂者花時亦以花祭又用鼓吹幡
旗歌舞而祭兵六万病妙應の五香当院より出る万氏信服
すふ奇特わりつものる何れいひ出せるが式五香ともあ
小音りくす子の... 大香の葉白... 布... 流

苗山江却ましの雪の... 石神井川 又逆川より王子山のふもとに王子村
堀ありあれり西より中里田如根岸合杉箕端もこの
羽水... 少... 此誤非之釈神社軍神とも云と王子社若一王子の上

補

此後... 十二月晦日の夜園八州の狐此... 王子稻荷社 全輪寺のニニ町... 令輪寺持

補

当社園八州稻荷の統領... 夜ハケ玉の狐此所... 田畑の... 狐火... 本本社 茶師如来 観音陀者尼天... 境内山中仕者の白狐...

海交江崎志

卷二

三

岡山桂嶺宗嫩大和尚 慶長三戌戌年十月起立寺中 奥福院

○天沢山龍光寺 もろもろ未 未お店 ○床竜山松禪寺 は福き、千太未

○福壽山大林寺 もろ林き、進分 ○慈雲山徳源院 海深き、日

○見海山江岸寺 日 片丁 ○万年山勝林寺 妙心、 日

○金龍山大田寺 茂林き、約也 ○白花山狼源寺 日 千太未

○医王山妙清寺 東陽き、竹丁 ○安栄山狼昌寺 紫菀き、土お店

茶師如来春日作 是臨あり 浄土宗佛図 追分と丁

○既成山光明院願行寺 知恩未 追分と丁

岡山真蓮社諦譽上人東胤和尚江戸品川の慶長十五年十

二月廿六日寂 当寺ハ不川願行寺と一寺之

此上人位職のりあ寺とありてゐる谷町の上寺町より

天和元年田録の後此地よりいさると不川の願行寺とあり

△不動尊 大山日本日作の像あり

塔院 周樂院 勤修院 淨入院 吉樹院

○身代地藏 善龍山清源院常徳寺 日未 土物店

○龍地山正行寺 増上寺末用山專蓮社念譽上人約也

常寺境内に覺空院清栄法下とて石像あり痰咳の病ふは像小

立願これ凍より利益あり平愈すれば酒番榊と供す

○地久山徳業院天栄寺 知恩院末用山信譽上人約也

駒籠子載稻荷三社大明神倉稻命日本武尊火揚命三社勧請之

○七観音 増上山三行院潮泉寺 坊上末 日

○聖観音 東光山定泉寺 知恩末 日

○金地山功德院蓮光寺 日 約也

同山の卷上人寺中 天竺院 寺称院

○護念山心光寺 付通未 移也 ○親縁山心行寺 坊上、このや

○一心山の念寺 知恩未 日 ○湯崎山淨心寺 日、日

○千年山栄松院 日 古丁 ○東向山大運寺 幡隨、土物店

○村芳山瑞泰寺 日 日 ○東梅山清林寺 日 古丁

○明窓山天然寺 取在古未日 ○淨土山十方寺 深衣寺、古丁

○大観音 天昌山松翁院光源寺 本所寺古未 古丁

長谷のりうの立像一丈六尺の觀音千龍佛の古念仏

貞享のころ江府の所人丸吉去来のりの若建の寺

○法花宗佛閣

○寂靜山大恩寺 中山末 進分 ○大覺山淨心寺 法思寺末 竹丁

○高耀山長元寺 寺進、このや 古中 要念院 寺中坊 宗成坊

○城照山法林寺 日 日 ○三任山福相寺 寺進、日

○常檢寺 寺進、佛指達人房中 養嵐 寺進、寺あり

○法照山顯本寺 寺進、日 ○覺性山浩妙寺 寺進、このや

○田城寺 小邊、日 ○十行山大乘寺 水戸久昌寺末 寺中 成任院

△富田寺 續の沼州山隠士元政の作り

○朗昌山蓮久寺 他上、竹丁

○一向の宗佛閣

○一向山專西寺 東 駒也 ○長源寺 日 古丁

○西善寺 日 古丁 ○西教寺 西 進分

○平松山教元寺 日 日 ○真淨寺 東 駒也

再抄江府名品志

卷三

再校工府名跡

○百間長屋 因所やりの表長屋より津の前より江

戸川の方へも通く

○吉祥寺場 水乃橋の四角く約迄吉祥寺跡をいふ

○浄土宗佛閣

○無量山壽経寺傳通院 談林 寺領六百石 小石川

開山西蓮社不誉上人聖問和尚 紫衣

明徳年中草創 本寺阿弥陀如来惠心の作

東照宮御母堂傳通院殿御遺言より尊嚴と小石川宗慶寺

納奉る御龍堂の地と二寺より御石塔の南北両面より

御法号とあるありてある寺の境より御法号の文字より

光岳寺 知香寺 御法号 傳通院殿 菅菅光岳知香大姉

△ち福の井 此井と掘るとき大黒の像となり出すなり福

の井といふ大黒の寺中昌林院より云々此井けりハ境内か

△多久蔵主稻村社 境内よりあり老女のるより

多久蔵主より狐りて八九十年おきて夜く所化寮より

て法と論すといふなりと稻村の合せりといふ

△二世教年蛙 一山は蛙ありとも久月上人勤学のさしあ

はしとありともよも上人封しとも蛙ののり声なし

勤学の坊より封しとも蛙ののり声なし

はしとありともよも上人封しとも蛙ののり声なし

開山不誉上人の眉間三日月のかたちありてえりる人

再校工府名跡

再校工府名跡

三三

世に後の六比を説きし

○親明寺 信留 恵明寺 平尾 ○東福寺 平尾 平尾

○福光院 平尾 平尾

○天台宗佛閣

○南縁山圓乘寺 上中末

○開山実仙法印 元和六年起立

△お七の墓 法名妙栄

補

約込片町八百屋久吉流しりしもの女は女天和二年の染火罪

しかりし世より可なりしきき記しし吉祥寺の小姓

吉三郎といひしものと慈慕の説は虚なり吉三郎といひし

のも要出ありて同村の同穴にありしは吉三郎の姓

しありし彼は浪しに記しし作らんと近きより人知る

実せし人多しといふ事なきの事ありしと記

梅栄山流泉寺 日 小系丁

天満宮 菅神真筆の画像に頼朝の士秋元新八郎政吉の

守神に末葉修理亮傳來せり元和年中寺跡にありし也

寺よりつゞきの一族をよびしと云ふ事ありしと記

○一向宗

○石川山善仁寺 東 板倉 ○念速寺 東 小系丁

○日之山新福寺 日 けり ○寂田寺 日 日

○安閑寺 ○佛以山竜寺 西 小石川

○法華宗

○本松山蓮華寺 駿州蓮永寺末 日

○同山安立院 日雄上人 天正十五丁亥年起立

寺中 慈光院 一舟院 仙慈坊 観成坊 玉泉坊 常寂坊

○大法山本傳寺 同末

寺中 円隆院 妙祥院 通玄院

○正信山妙傳寺 蓮花寺 白山 成就山本住寺 北山、小石川

○長清山善心寺 本成寺、大つ

○信弘山本念寺 只川本光寺末、系丁

△正一位稻荷 白山惣持守 往古より上州鉾林城内矢場

に法坐寛文の頃御信敬ありて鉾林より御勸清あり白山
御教より法坐天和よりして當寺に屬せしむる

○禪宗

○瑞鳳山祥雲寺 曹洞 吉祥寺末 寺依五石 小云川

當寺はけいけい淨光院といひ一りの御法号は障火令
改る宝永五年と

補

△地黄坊樽次り墓 水鳥記あり
碑面不動像 右は酒徳院醉翁樽枕居士ありて洋世
狂哥二首

みふくの乃とくはそこの山にちこえりておのりおのり
南をこりてわすれこの樽と香りの方お樽とかがりて

樽次は本年名茨木春朔よりそのさだ林家の門人よて儒医なり
しり次よむて酒井家の杖持といふじり歌声り酒下居住
す平せ酒と好て樽次と号し一交友多く世に名る可
水鳥記といふ自編の書なり大師河原池上太師左門底
深し酒合戦の戯れなり甚蔵といへるは決地師小友某と
て生涯富豪よて謙余よ住後は一向宗の専つたる樽次
自りの我はこれ武州大塚に居住し六位の大酒官地黄
坊樽次として晋の劉伯倫が再来なりと云ふは樽次、遠
晋を尋しハ谷中妙林寺よて法名信吾院日宗と号妙林
寺よのころ日蓮宗あり今ハ天台宗よ轉て此祥雲寺の
墓ハ酒門高井菅任の造立す任ハ本名和泉屋左助
と云ふ但州出石の寺にその舞妓の棧敷して樽次蜂法の大
益と附屬せし後ハ菅門と成淺妙す所おる為と云ふ
義三坊と号酒門人とかかりて此塔と云ふは我三坊ハ享

